

業 務 用

注目の一台

宅配保管、利用履歴も確認

ウォーターポイントの「トランスマイスター 電子BOX」

高機能と低価格を追求した宅配・セキュリティボックス「トランスマイスター 電子BOX」。

飲料水の自動販売機を製造販売する発売元が、宅配ボックス事業に初参入した。宅配ボックスは集合住宅などの共有空間に設置し、24時間荷物の受け取りを可能にするロッカー。新製品は、利用履歴を確認できるなど高機能を有しながら価格を抑えたのが売り物。

屋内型は1台(1列4段=幅50cm×奥行き52cm×高さ152cm)38万円(設置工事費と保守費、税は別)。保守付きリース販売(8年、月額6000円=設置工事費と税は別)も用意。発売は5月末日で、初年度100台の販売を目指している。

設置先は集合住宅のほかに全国のスーパー、さらに貴重品や工具を保管したい建設現場、重要書類などを厳格に管理したい店舗やオフィスも視野に入れている。

発売元はウォーターポイント(広島市西区、082・272・2431)。

——<開発者から>——

インターネット通販の拡大により宅配便の取扱個数が急増し、宅配ドライバーの負担増も大きな社会問題になっている。こうした状況を打開するのが宅配ボックス。政府は今年4月から宅配ボックスの設置費用の半額を補助することになり、今後ますます各分野で導入が広がっていくはずだ。



新製品は、ボックス単位や部屋番号ごとに開閉日時を確認でき、3日以上滞留している場合は警告表示を行う機能も備えた。高機能でも価格を抑えることができたのは、自社開発製品だから。今後は、水販売機1800台以上の納品実績を生かし、スーパーなどにも設置網を拡大していきたい。

(社長の小早川克史さん)